

お年寄りと家族から学んだ事

宅老所よりあい

代表 下村恵美子

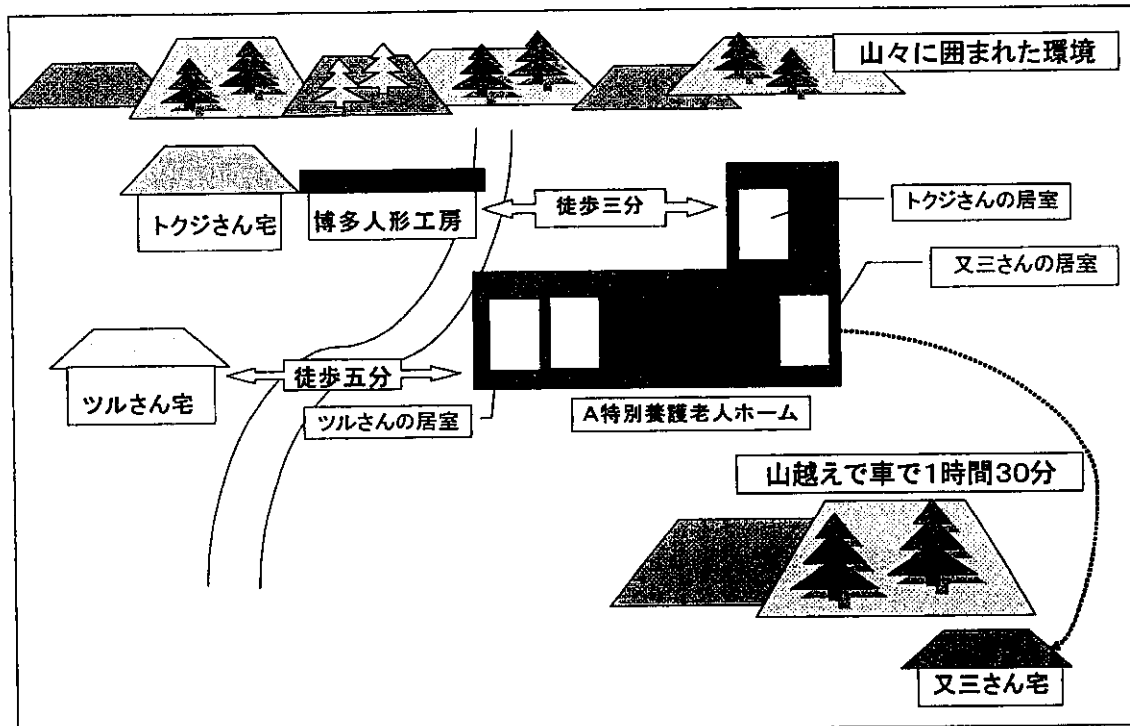
老人ホームで暮らすということ

- ご近所から入居された
98歳のツルさんと
博多人形師トクジさんの暮らし
- 「死ぬまで、ここにおらないかんとか・・・」
大工・又三さんの問い



- ・人間関係と生活の継続
- ・在宅生活の分断

住み慣れた家との距離

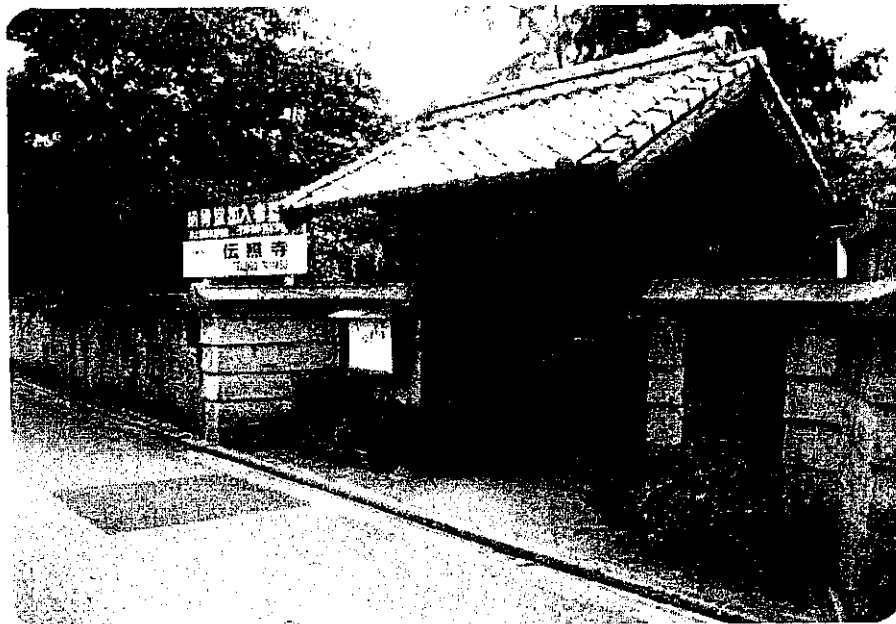


16年間、マンションでひとり暮らしのノブさん



お寺のお茶室でよりあう

—老人介護の勉強会で住職の奥さんとの出会いがご縁で—



ノブさんに仲間ができた



ノブさん(一人暮らし)の社会との接点

—あんたに何の関係があろうか！他人の都合で生活が変えられる—

- 小火、悪臭、泥棒騒ぎ…地域の問題老人
- 訪問で生活を支える
- 自宅内での関係から

地域との関係へ…自宅から通える場必要

- 老人介護の勉強会から支援の輪が広がる
- マンションから5～6分のよりあいに
六ヶ月通い、五年半宅老所に泊まり続け
- 98年生きて多くの友人に見送られた

開設前から続くバザー、
地域の人に支えられていることを実感



増改築を続ける築83の民家



通所を中心に在宅を支える

— 通いと泊まりで柔軟に —

宅老所よりあい
代表 下村恵美子

湯布院旅行にて・・・



はじめて泊まりの夜をむかえる



いつもの場所で、なじみの人と泊まる



泊まりの夜は、眠気も吹っ飛ぶ



広間でのよりあい



一人暮らしのテルさん

・・・「うれしか ぼってーが かなしかあ」



よりあい12年の歴史と共に・・・



退院後、よりあいに住む



そして、
自宅に帰る



きくこ先生103歳(深夜二時のまなこ)